

コニカミノルタの中国統括会社の総経理  
中国上海市より「白玉蘭記念賞」を受賞

2007年9月4日

コニカミノルタグループの中国における統括会社、コニカミノルタ（中国）投資有限公司の総経理、鈴木茂樹は、上海市政府より「白玉蘭記念賞」を受賞し、本日、上海市の韓正市長より勲章・表彰状を授与されました。

「白玉蘭記念賞」は、上海市の発展に対して多大なる貢献のあった上海市在住の外国人を毎年表彰する名誉ある制度です。「白玉蘭」は中国語で「白もくれん」を意味し、上海の市花として市のシンボルにもなっています。

コニカミノルタは1970年代に香港に販売会社を設立して以来、東莞、深圳（シンセン）、上海、武漢、大連と次々に生産・販売会社を設立しました。2005年には、中国市場における体制強化を図るべく、上海に統括会社を設立するとともに、上海の西に位置する無錫にデジタル複合機、レーザプリンタの最新鋭の主力生産会社を設立し、同年より稼働を開始しました。現在では、14社（香港を含む）が中国全土で生産・販売・サービス・統括のそれぞれの事業活動を展開しています。1994年から本格進出した上海には、今では7つの拠点があり、コニカミノルタグループの中国における全事業会社の販売活動の中心地となっています。

今回の受賞では、これまでの10数年にわたる上海における幅広い事業活動、2003年のSARS対策として胸部X線システムの寄贈、2006年の中国政府主導による「100万人乳がん検査プロジェクト」に賛同し最新鋭乳房X線撮影装置を寄贈したことなどが評価されました。

世界各国で事業を展開しているコニカミノルタでは、「グローバルに通用するCSR」を中期経営計画の基本方針に盛り込み、それぞれの地域に根ざしたビジネス活動を行っています。上海のみならず、その他の地域においても必要不可欠な企業グループとなることを目標として、広く経済の発展、社会に貢献する活動を継続してまいります。

---

本件に関するお問い合わせ先

コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ  
TEL： 03-6250-2100